

分野ごとの「目指すまちの姿」について 考えをまとめました！



令和4年12月14日（水）18：00～19：30
花巻市定住交流センター | なはんプラザ

花巻市では現在、新たな「まちづくり総合計画」の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、市が目指すべき理想の姿や、そのために必要な取り組みについて話し合いをするためのワークショップを開催しています。

幅広い世代の方が参加する【一般部門】では、全7回のうち、第6回を迎えました。39人の参加者のうち、24人の方にご出席いただきました。

今回は、前回に引き続き、分野ごとに設定したテーマについて課題を解決するための取り組みを掘り下げるとともに、各分野の「目指す将来のまちの姿」を考えました。

新しい総合計画に掲げるまちづくりの分野 （6つの柱）

I しごと

II 暮らし

III 健康・いのち

IV 子育て・人づくり

V 地域づくり

VI 行政経営

※事前に関心の高いものについてアンケートを取り、分野ごとに7つのグループを作っています。
（「子育て・人づくり」分野は2グループ）

第6回ワークショップの流れ



前回から引き続き、各グループで設定したテーマについて「課題に感じていること」を解決するための取り組みのアイデアを「市民」「地域／民間」「行政」の視点から出しました。

取り組みのアイデアを整理しながら、特に大事な視点や欠かせないものなどのキーワードを抽出しました。キーワードを参考にしながら、分野の「目指すまちの姿」を一言にまとめました。

グループでまとめたキーワードや「目指すまちの姿」を発表し、全体で共有しました。それぞれの分野の特徴や各グループの想いを乗せた言葉としてまとめました。

各分野の「目指すまちの姿」

「しごと」グループ

**花巻だから何かがある
五感をいかしていきいきと
働くまち**

- ・観光の活性化のために、「五感」で楽しんでもえるようにしたい！
- ・「花巻の農産物だから買いたい」と思ってもらえるようにブランド化できるとよい！
- ・ライフスタイルに合わせた働き方が花巻できるとよい！



「暮らし」グループ

【キーワード】
**みんな（全ての生き（る）もの）／
共生・共存／困り事のない生活／
助け合い・支え合い／「ふつう」の幸せ／
程良さ（えやんべ）**

- ・高齢者、障がい者、子ども、さらに動物も植物も含めた「みんな」が共生する暮らしやすいまちへ！
- ・「快適」だけでなく、「困りごとを少なくする」ことも大切で、程よく、普通の幸せを感じるまちになるとよい！



「健康・いのち」グループ

**声をかけあい、
地域ぐるみでつながっている
心身ともに健康なまち**

- ・「つながりあうこと」「地域ぐるみ」「声掛け」「孤立させない」「日常生活に関する相談のコンシェルジュ・かかりつけ」といったキーワードが共感を得た！
- ・各家庭が個々にあるのではなく、お互いに助け合える地域をつくるのが大切！



「子育て・人づくり①」グループ

**大人と子ども、
市民総参加でともに育つまち
～はじめの一步はあいさつから～**

- ・行事に参加しなければ、新しいつながりは生まれない！
- ・やはり人と人のつながりは「あいさつ」が大切！
- ・お互いに情報や知恵を共有し合うことも重要！
- ・親だけでなく「大人」全員が関わられるように！



「子育て・人づくり②」グループ

**花巻の未来をつくる人材を
地域と自然で育成し、
若い女性が住みたくなるまち**

- ・「自然と触れ合えること」「多世代が関わる子育て・遊び」「若い女性が住みやすいまちづくり」などがキーワード！
- ・安心の出産、安全の子育てのために、多様な視点で支援をしていくことや女性の社会進出を進めていくことなども重要！



「地域づくり」グループ

**地域・ひとに光を当て、
小さな活動が活発なまち**

- ・人や活動など、まずは「花巻を知る」ことが大切！
- ・小さなコミュニティを活性化するためには人材発掘や人材育成が重要！
- ・「地域の日」をつくってみるなどのアイデアも！



「行政経営」グループ

**市民と行政を DX でつなげ、
明確なビジョンがあるまち**

- ・戦略的なビジョンを持つことや打ち合わせたことのデータベース化などが大事！
- ・市民の声を様々な方法で吸い上げ、データベース化し、市民の声を聞いたうえで「花巻はこういうまちを目指す」という明確なビジョンをもつことのできるまちになってほしい！



次回ワークショップに向けて

今回のワークショップでは、グループごとに設定したテーマを掘り下げていながら、各分野の「目指すまちの姿」をまとめました。話し合いの中で、その分野で大事にしたいことや今後必要になることなどをキーワードとして整理したことにより、目指すべき方向やそのために必要なことが明確になりました。

次回は最終回。これまでのワークショップの内容を振り返りながら、「花巻に関わる一人ひとりが今できること」について考えます。